

事業所名

信濃こぶし会 放課後等デイサービス グース

支援プログラム

作成日

7年

1月

20日

法人（事業所）理念		①私たちは人間としての尊厳を守り人権を擁護します。②あるがままを支える安心安全のネットワークを作ります。③個性を伸ばしひとりだち（自立）を支えます。④体験を拡げ生活の質の向上をはかります。⑤ニーズに気づく感性を育みます。						
支援方針		社会の中で自分らしく生き抜くために、できることを増やし自信をもつとともに生活する力を育みます。ひとりひとりの特性に合わせたプログラムでゆっくり向き合い、小さな変化を見逃さず、成長につながる適切な支援をおこないます。						
営業時間		平日 学校休業日	14時 9時	30分 00分	18時 15時	30分 00分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣や食生活・健康について学習や学びを通して身に付け、年齢に合わせた自己管理ができるようにする。障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かり易いよう構造化する。医療的ケアが必要な子どもさんには主治医指示書を基に医療行為をおこなう。						
	運動・感覚	日常生活に必要な姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指す。感覚統合遊びを通して楽しみながら身体の発達を促す。感覚や認知の特性を考慮し環境調整等の提案及び支援を行う。						
	認知・行動	間隔や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、適切な行動への対応支援をおこなう。活動を通して数や形、大きさ、重さ、色の違いなどの習得のための支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得や自発的な発声を促す支援をおこなう。ひとりひとりの発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の表出・伝達ができるように支援する。						
	人間関係 社会性	集団生活の中で役割分担をしたり、ルールを守ることの大切さを学び、社会性や安定した人間関係の形成を支援する。						
家族支援		来所時での様子や活動についての情報を共有する機会を持ち連携を密にして、連続性のある総合的な支援を行う。関係者・関係機関との連携による支援体制を構築する。			移行支援		具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有をおこなう。進学・就労、環境変化に向けての課題提示・実践。他関係機関との連携をはかり、支援体制を構築する。	
地域支援・地域連携		地域の公共施設の利用など地域資源の活用。圏域内外の関係各所との連絡・情報共有。連携会議等への参加。			職員の質の向上		内部研修・勉強会の実施。特性に応じた対応への随時ケース検討会の実施。自立支援協議会等の研修参加。法人内他事業所との交流。支援の評価《すてきはっと》の実施。	
主な行事等		ミニ夏祭り ハロウィン クリスマス会 大掃除 豆まき 卒業・進級パーティー 喬木村児童交流会参加 調理活動 外食体験						